

特集

今号の撮つておき！ 地に足をつける 3

農家が足りない！ 増やすために動く

農家が足りなくなつたのはなぜだ？ 8

農家が足りない！——昨今の実情 12

小さい農業を増やす

下限面積廃止で農地の貸借急増！

細切れ農地が豊かな農LIFEの入り口に 静岡県浜松市 14

小さい農業の応援に行政が乗り出した 22

農村での暮らし方まで学ぶマイクロファーマーズスクール 兵庫県神戸市 森本聖子 24

技術・農地・機械のハーダルを下げて 小さい自然栽培農家を増やす 富山県立山町 坂口創作 26

百姓百人でにぎやかに暮らすための農地中間管理チーム 新潟県上越市 鳴谷幸彦 30

集落営農・農村RMOで増やす

地域計画をきっかけに 農地と扱い手のことを考えた 島根県浜田市・小国の農業を考える会 34

農村RMO立ち上げを機に「中継ぎ」世代が立ち上がった 島根県邑南町・LICO出羽 39

地域まるつと中間管理方式で農家を増やす 山形県飯豊町・ふあーむなかつがわ／山形市・南山形お互いさまの会 42

農地の粗放利用に向く作物

遊休田も活かせる 枝物栽培 大分県農林水産部園芸振興課 松井大悟 48

ヘーゼルナッツ 52 クランベリー 53

こんな仕掛けで増やす

地域おこし協力隊 JA・行政協働で「扱い手プロデュース」 JAみなみ信州扱い手支援室 澤柳実也 54

特定地域づくり事業協同組合 有機市民農園と市の農地バンク 60

人口扶養力を誇り、移住を呼びかける未来形「地域計画」を 持続可能な地域社会総合研究所 藤山浩 62



もの申す

財政審が言つてゐることは本当か？

食料安保に必要なのは農家が継続できる「岩盤」直接支払い 東京大学特任教授 鈴木宣弘 68
グローバリズムの平成は終わつた、令和は「多様化と分散」だ 帝京大学教授 玉真之介 72

能登を忘れない——『能登のムラは死なない』刊行記念トーキイベントより 76

集 落

新連載 もうひと花咲かせましよう あなたもわたしも① 宮城県石巻市・とやけの森 日野宏敏 78
どうする？ 農村RMOの運営資金確保策 80

農村RMOの始め方④ いわて地域づくり支援センター 若菜千穂 84

ご当地おもしろスポーツ⑥ てつかりんご飛ばし 88

空き家のミカタ⑤ 徳島県・神山町移住交流支援センター 吉田涼子 90

農

どう変わる？ 多面的機能支払の第3期スタート 92

地方で挑戦するあなたへ 地域マーケティング講座④ くつろぎたいのも山々 猪原有紀子 96

唄は農につれ農は唄につれ⑤ ノンフィクション作家 前田和男 100

地工ネ

超小集電を見た！ 土や水、自然物から電気を生み出す技術 茨城県常陸太田市・トライポッド・デザイン 104

防 災

農業を支援する「もう一つの災害ボランティア」 東北学院大学准教授 齊藤康則／九州大学教授 朝廣和夫 108

中山間直接支払を活用して「災害復旧基金」 烏取県日南町・笠木営農組合 石川哲嗣 112

山・里山

新連載 まちづくりは木から始まる① 長野県松川町 田中大也 122

ウバユリの球根からつくる「ゆり粉」を現代に復活 佐賀市婦人林業研究会 門脇恵 128

里山を舞台にフォトロゲイニング 千葉県館山市・ふれあい神余の里 126

地撮り！③ 令和の里山、馬で耕す 115

田舎ガフエ⑭ 狩猟の楽しさ発信、獣害相談も受ける 岐阜県美濃加茂市 齊藤靖憲 66

ゆるくらジャーナル 本・映画 輝く図書館 読者の声

132



記事内で紹介しているバックナンバーの記事はルーラル電子図書館（会員制）でお読みいただけます。バックナンバーを表わすマーク 地域 を入れています。また、その記事の内容・テーマを深く知るのに役立つ記事には右のマークを付けています。

あわせて
読みたい



『季刊地域』のウェブサイトもますます充実、オリジナル連載も継続中。こちらもご覧ください。



目次写真=尾崎たまき・久保陽香 イラスト=河野やし